

知事のイタリア訪問（評価と概要）

（1）ミラノ

日本館訪問及び日本館イベントステージ「和歌山県の日」出演

日時：7月5日（日）10時30分～15時30分

場所：ミラノ国際博覧会会場

仁坂知事は、ミラノ国際博覧会日本政府代表の加藤辰也氏の出迎えを受け、加藤政府代表の案内のもと日本館の展示を視察した。また、本県のイベント「和歌山県の日」のステージでは、和歌山県が誇る豊かな観光資源や自然の恵みを受けた和歌山の「食」とその機能性について、イタリアとの類似性を織り交ぜながらプレゼンテーションを行った。同プレゼンテーションには、イタリアを始めとする各国から120名を超える方々の参加があり、大変盛況であった。会場では参加者に梅干し、梅酒、みかんジュースなどの県産品を振る舞い、本県の「食」をPRするとともに本県産品の魅力を味わっていただいた。知事プレゼンテーションの後には、原農林水産政策局長が世界農業遺産に申請中の「みなべ・田辺の梅システム」のプレゼンテーションを行い、認定に向けて積極的なPRを行った。



イタリア館訪問

日時：7月5日（日）15時45分～17時00分

場所：ミラノ国際博覧会会場

仁坂知事は、開催国イタリアから招待を受けイタリア館を訪問した。EXPO2015公社事務局長のファブリツィオ・グリロ氏の出迎えを受け、万博のテーマである、食料不足や食育など食料に関する重要な問題で意見を交わした後、同館を視察した。また、フリウリ・ベネチア・ジュリア州の副知事であるセルジオ・ボルツォネロ氏をはじめ、州農業担当評議員、州観光局長から北部イタリア最東端に位置する同州の説明を受けた後、州副知事から記念品としてメダルと同州紹介の冊子が贈られた。



ボッコーニ大学 カルロ・セッキ教授との会談

日時：7月6日（月）12時30分～14時30分
場所：ボッコーニ大学

仁坂知事は、ミラノ市内のボッコーニ大学を訪問し、カルロ・セッキ教授（写真中央）、ローラ・カンドッティ国際部長（写真左）ほか関係者と大学間交流について意見交換を行い、和歌山大学瀧学長からボッコーニ大学モンティ理事長あての親書を手渡して両大学の交流の橋渡しを行った。



(2)ローマ

国連食糧農業機関（FAO）・シルバ事務局長、セメド事務局次長を表敬訪問

日時：7月7日（火）15時00分～16時30分
場所：国際連合食糧農業機関（FAO）

仁坂知事は、世界農業遺産（GIAHS）の認定機関である国連食糧農業機関（FAO）を訪問し、グラジアーノ・ダ・シルバ事務局長（左の写真）、マリア・ヘレナ・セメド事務局次長（右の写真）をそれぞれ表敬、現在、世界農業遺産に申請中の「みなべ・田辺の梅システム」をPRするとともに、早期の認定を要望した。また、世界農業遺産への期待やその意義についても意見交換した。知事の訪問は両氏に大変喜ばれ、歓迎された。シルバ事務局長は、「GIAHSに関しては日本をはじめ、中国、中南米、中近東、そして欧州と認定をとろうとしている国が増えてきて大変嬉しい。早期の認定に向けては自分も応援する。」と述べた。また、セメド事務局次長は、「仁坂知事がGIAHSに関心をもってくださっていることを嬉しく思う。できるだけ早く審査をしたい。」と述べた。



〈お問い合わせ〉

企画部企画政策局企画総務課

担当：阪口、楠見、川口

電話：073-441-2334

農林水産部農林水産政策局農林水産総務課

担当：段子、西森

電話：073-441-2862